

No	テーマ	学修到達目標	内容	課題
第1講	栄養アセスメントの手法 公衆栄養マネジメント 食事摂取量の把握方法	<ul style="list-style-type: none"> 自身の出身市町村について地域アセスメントを行い、地域の健康課題を抽出し、レポートにまとめることができる。 秤量法、写真記録法による食事調査と栄養計算を実施し、日常的な食事摂取量の把握の方法と特徴を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域・社会集団の健康・栄養状況の情報収集 ②地域アセスメントの実施 ③全国・岐阜県・各市との比較分析 ④各種統計・疫学アセスメント ⑤国民健康・栄養調査、健康日本21等の結果の把握 ⑥各種事業統計、事業内容の実態把握等 ⑦地域アセスメントのまとめ ⑧食事調査のまとめと評価 	<ul style="list-style-type: none"> 地域アセスメント資料の作成と提出 発表用パワーポイント資料の作成 自身の7日間の食事記録と栄養計算の実施
第2講	地域アセスメント実習			
第3講	〃			
第4講	〃			
第5講	〃			
第6講	食事調査の自己分析と栄養指導 ○国民健康・栄養調査 ○健康日本21（第三次）	<ul style="list-style-type: none"> 自身の食事記録に基づき、食事摂取基準による個人の摂取量の評価ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康・栄養調査の実施方法 健康日本21（第三次）の概要 	<ul style="list-style-type: none"> 食事記録（7日間）と評価結果の提出
第7講	母子領域若しくは成人老人領域の事業計画案の作成	<ul style="list-style-type: none"> 地域の母子保健事業・食育推進事業、成人老人保健事業等を把握分析し、法的根拠及び評価方法を学習する 地域の健康課題を解決するための事業計画案と目標や評価方法についてまとめることができる。 事業計画案に基づいた、住民に伝わるリーフレットの作成ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①母子保健事業、②歯科保健事業、③成人老人保健事業、④食育推進事業、⑤特定健康診査・特定保健指導（集団・個別）、⑥がん検診等 ⑦健康教育・健康相談など ⑧法的根拠、⑨評価方法 	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画案の作成と提出 発表用パワーポイント資料の作成 リーフレット作成と提出
第8講	〃			

第9講	健康行動に導くためのリーフレットの作成		等を分析し、課題を解決するための取り組み案を考える 地域の事業計画案に基づき、ポピュレーションアプローチを意識したリーフレットを作成する。	
第10講	発表	・発表者は、地域アセスメントと健康課題について、効果的なプレゼンテーションを考え発表することができる。		パワーポイントによる発表（1/2の学生）
第11講	発表	・発表者は、地域の健康課題に基づく事業計画案について、効果的なプレゼンテーションを考え発表することができる。		パワーポイントによる発表（1/2の学生）
第12講	食事調査の自己分析と栄養指導 ○食事バランスガイド ○健康な食事	・食事バランスガイドを活用した食事記録の評価と、食生活アドバイスが提案できる。 ・健康な食事について、「スマートミール」の基準に基づいた食生活の改善提案ができる。	・食事バランスガイドの理解と活用 ・「健康な食事」の理解と提案	・食事記録（7日間）に基づいたワークシートの提出
第13講	特定健診・特定保健指導についての理解	モデルケースの階層化と、特定保健指導の初回面接を想定した質問内容や、改善につながるアドバイスについて提案ができる	・特定健診・特定保健指導の法的根拠と事業の理解	アドバイスシート（グループ毎）の提出
第14講	階層化による保健指導の理解・特定保健指導計画の作成	特定健康診査の評価項目について理解ができる。	事例に基づき、グループで階層化と食生活改善のアドバイスを考える。	
第15講	エネルギー調整の実習 食事摂取基準による集団の食事の評価	クラスの食事記録結果を用いて、密度法、残差法によるエネルギー調整の意味が説明でき、演算ができる。 食事摂取基準による集団の評価ができる。	・クラスの食事調査結果から、密度法、残差法によるエネルギー調整を理解する。 ・食事摂取基準による集団の食事の評価の理解と、エネルギー調整による評価の違いについて理解する。	演習シートの作成と提出

